

千代小だより

10月号 第7号
令和8年9月30日
教育立市のまち 河内長野
家庭数配付
http://www.kawachinagano.ed.jp/chiyosho/

【楽しさの先にある成長】～千代小まつりで見えた子どもたちの自主性～

9 月 25 日（金）、子どもたちが中心となって「千代小まつり」を実施しました。教室では子どもたちが考えた工夫いっぱいのゲームが運営され、廊下には「～で〇〇やってます!!来てください!!」という元気な呼び込みの声や、「次はどこ行く!?」と弾むような声が響き渡っていました。教室の入り口で受付を済ませると、中ではルール説明から学年に合わせたゲームの案内までスムーズに行われており、どの子も自分に与えられた責任を果たしながら、千代小まつりを楽しんでいる様子でした。

さて、千代小まつりは異学年集団による行事です。今回は、高学年の子どもたちが低学年を頼もしくリードする姿が特に印象的でした。お兄さん、お姉さんに優しく連れられて楽しむ低学年の姿は、何とも微笑ましいものです。この交流を通して、高学年には「責任」や「自覚」が芽生え、自信が身につきます。また低学年にとっても、上級生のあたたかいサポートを受けることで、「自分たちが高学年になったとき、同じように下級生を支えよう」という思いが育まれます。これは、異学年活動がもたらす素晴らしい伝統です。同世代の学級内で学ぶことも多くありますが、異学年だからこそ得られる貴重な経験や成長がたくさんあります。

また、事前の準備の様子を振り返ると、各教室で興味深い違いが見られました。高学年の指示のもと、グループの子どもたちが自分の役割を果たす教室もあれば、特に指示がなくとも、自分たちで必要な作業を見つけ出して自発的に準備を進める教室もありました。どちらも集団としての成長を示す良い姿ですが、後者の姿がより印象的でした。誰かからの指示を正しく理解し、その通りに役割を果たすことは、集団生活を営む上では大切です。しかし、見方を変えれば、それは「指示待ち」の状況にとどまっているのかもしれません。それよりも、一人ひとりが集団全体の動きを観察し、「いま何が必要か」を考えて行動する。そして自分たちの選択や動きを自分たちで調整していく。そうしたプロセスのほうが、子どもたちにとってはより深い学びに繋がることが多いです。なぜなら、自ら判断して動く行動には「自己決定」があり、その結果に対する「責任感」も生まれるからです。

「指示されたことをこなす」ことと、「自分で考えて行動する」ことでは、経験として自分自身に残るものに大きな違いが生じます。自主的な行動をやり遂げたときこそ、人は本当の達成感や自信を身につけるのではないでしょうか。学校行事において、すべての過程を「指示なし」でスムーズに進めることは容易ではありません。しかし、今回の千代小まつりのように、子どもたちが自ら決定し調整し合える機会を、今後の運動会や音楽会などの行事でも生かしていきたいと考えております。

【運動会 10 月 18 日(日)に関わる連絡について】



今週から、本格的に運動会の練習が始まっています。当日はぜひ来校いただき、子どもたちの頑張りや活躍をご観覧ください。まだまだ気温も高く外での活動が続きますので、水分は多めに持たすようにお願いします。運動会に関する手紙も配付しております。ご家庭より提出いただくものもありますので、ご確認ください。

〇「運動会のご案内」
〇「運動会の昼食（ふれあい昼食）について」　※10 月 6 日（火）までにご提出ください。
〇「運動会専用保護者証とリング着用ご協力のお願い」 ※10 月 9 日（金）までにご提出ください。

９月のチヨスゴ（チヨダのスゴイとこ）

○ シャボン玉あそび（１年生）

１年生みんなでシャボン玉遊びです。



大きなシャボン玉をつくるコツを話し合っていました。



おおはしゃぎでたくさんのシャボン玉をつくっていました。



○千代小まつり①

縦割り班で各教室の催しを回ります。



高学年が低学年に優しく接している姿がたくさん見られました。



出し物の企画や運営も子どもたちが協力して行います。



○千代小まつり②

開会式・閉会式はオンラインで各教室に配信!!



ろうかでも活発な宣伝活動が行われました。



子どもに負けないように先生も記録に挑戦です!!



【保護者の皆さまへお願い　子どもの持ち物について】

学校へは学習に必要のないものは持ってこないルールになっております。文房具や筆箱などはデザインにこだわるのではなく、使いやすいものを持たせてください。また、壊れたり汚れたりして困るものは持参をご遠慮ください。

華美なヘアゴムや装飾品は、友だちの興味を惹きやすく「触りたい」「貸してほしい」といったやり取りから、破損や紛失、持ち主の特定が難しくなるといったトラブルにつながりやすくなってしまいます。学校では持ち物に気を取られず学習に集中し、存分に身体を動かして運動してほしいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

10月 行事予定

※バラエティフェスタでの小学校児童による演技につきましては、会場校の児童で実施することになりました。今年度は楠小学校が会場となりますので、千代田小学校の児童は演技を行いません。

令和8年度 行事予定表<10月>　　河内長野市立千代田小学校

日	曜	主要行事	下校時刻
1	木	3限 お店たんけん《2年》	12年14:50 3~6年15:40
2	金		12年14:50 3~6年15:40
3	土	中学校体育大会	
4	日		
5	月	6限 運動会係活動①	1~4年14:50 56年15:55
6	火		1年14:50 2~6年15:40
7	水	<B校時4h>	全学年13:20
8	木	1限 運動会全体練習① 6限 運動会係活動②	1~4年14:50 56年15:55
9	金	1限 運動会全体練習② 6限 World学習②《6年》	12年14:50 3~6年15:40
10	土		
11	日		
12	月		
13	火		1年14:50 2~6年15:40
14	水	<B校時>1限 運動会全体練習③ 秋季尿検査一次①	123年14:20 456年15:10
15	木	秋季尿検査一次②	12年14:50 3~6年15:40
16	金	<運動会特別校時>	1~4年14:50 56年16:00
17	土		
18	日	運動会	12年14:30 345年14:35 6年14:50
19	月	10月18日分振替休業日	
20	火		1年14:50 2~6年15:40
21	水	6限 クラブ④	123年14:50 456年15:55
22	木	<B校時>	12年14:20 3~6年15:10
23	金	6限 郷土歴史学習《4年》 放課後 修学旅行保護者説明会《6年》 中学校区支援学級遠足	12年14:50 3~6年15:40
24	土		
25	日	10:00 バラエティフェスタ	
26	月	2限 避難訓練（不審者） 社会見学①《3年3組》 6限 ぐんぐん《3年》	123年14:50 456年15:40
27	火	社会見学②《3年1組》 社会見学③《3年2組》 あいあいあいさつ活動②	1年14:50 2~6年15:40
28	水	<B校時4h>	全学年13:20
29	木	遠足《2年》	12年14:50 3~6年15:40
30	金	中学校区支援学級遠足予備日	12年14:50 3~6年15:40
31	土		

○11月のおもな行事



2日（月）美化キャンペーン
　　ぐんぐん（3年）
4日（水）秋みつけ（12年）
　　人権教室（3年）
　　委員会活動
　　ぐんぐん（4年）
5日（木）修学旅行1日目（6年）
6日（金）修学旅行2日目（6年）
9日（月）校外学習（5年）
12日（木）昼休みわくわく遊び
16日（月）ぐんぐん（3年）
18日（水）遠足（1年）
　　クラブ活動
19日（木）音楽会（5年）
20日（金）就学時健診
　　※全学年13:00に下校
27日（金）社会見学（4年）
30日（月）食育授業（1年）
　　B1バトル（5年）

校長室だより

学校と家庭でちがう子どもの姿

懇談会などでお家の方と話をしていると学校と家庭で見せる姿が違うということに気づかされます。「家では何もしないのに学校では本当にちゃんとやっているんですか？」と聞かれることが多々あります。「家では安心してだらだらできているので学校ではがんばれるようになっていると思いますよ」と返します。大人も子どももこのパターンが多いのではないでしょうか。お家の方々も私たち大人も仕事のときは気を張って、ていねいな言葉をつかい、周りへ気をつかい、仕事の役割を果たすための集中力を高めながら生活していることと思います。すると家に帰って「だら～」としてしまいます。これは子どもたちも同じです。学校で先生の言うことをしっかり聞こうとして、授業でしっかり課題に向き合って、休み時間にはしっかり遊ぶ、そして疲れて家に帰ります。だから家では宿題をせずに「だら～」としてしまうこともあるかもしれません。ときには愚痴をこぼすこともあるかもしれません。「家でだらだらすることができる」から学校で頑張ることができているのです。ちなみに、学校で「だらだら」してしまう子どもも中にはいます。家でがんばりすぎているのかな？と想像するのですが、本人の思いを聴き出しながら個別に保護者の方と相談させてもらっています。

学校と家庭、どちらも本当の子どもの姿です。家と学校で言うことが違うのはどちらの思いもあるからだと考えています。だから私たち教職員は学校の姿や発言だけではなく、家庭の子どもの姿や声を知りたいと思っています。できるだけお家のみなさんから話をうかがいたいと日々思っています。

PTA改編　ちょこっとの力を集めたら大きな力になる！

昨年度のおわりからPTA活動をスリム化できないかと役員会で検討を重ねてきました。どの活動を残すのか？どうやって人を集めるのか？役員の選出方法は？など細かい話も議論してきました。

改変をするに当たり大切にしていきたいことは「ちょこっとの力をたくさん出し合ったら大きな力になる」という考え方です。そこでこれまでの活動をなくしたり、みんなの力をちょこっと出してもらったりして必要な活動を支えられたらと思っています。

具体的には以下のように考えています。

・PTA学級委員は廃止：4月の学級委員選出の手間はなくなります。

学級委員が「家庭教育委員」「学級代表」「行事委員」「広報委員」「保健委員」を担当していましたが、これらの委員会は縮小して形を変えます。

・地区委員会も廃止：本部役員、地区委員の選出がなくなります。

登校班編成、旗当番表作成、次期役員・地区委員の選出、運動会、バラエティフェスタ、美化キャンのお手伝い と一番大変な仕事でした。

・本部役員：学年1名ずつ抽選で選出　6年間役員免除は継続

「家庭教育委員」の役割をひとまず廃止し、あとの委員は役員全員で担います。

※PTA 会員全員が一年に一回以上「ちょこっと活動」をすることで取組みを進めます。

旗当番、運動会、バラエティ、美化キャンなどから1回以上の活動を行います。